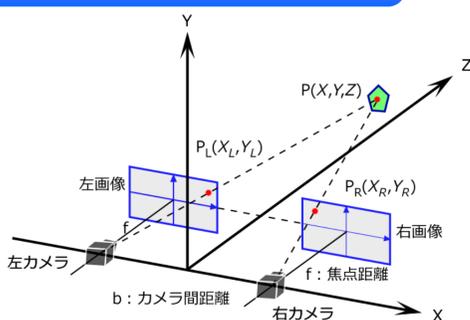


# ステレオ画像相関法による変形計測

- 接合時の変形を3次元で評価
- FEM解析の妥当性検証にも有効

## 原理



### ステレオ法

2台のカメラから対応点間の視差を利用し、**深度情報を取得**する手法

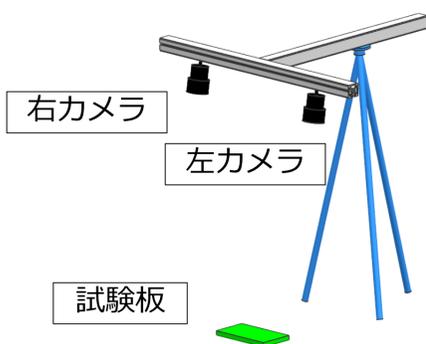
### + 画像相関法

複数の画像から**対応点の探索、変位量を取得**する手法

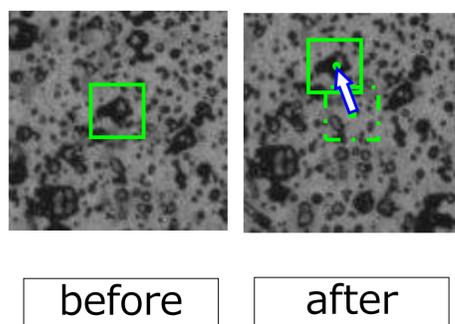
- 観察対象の**3次元座標 (x,y,z)** を取得可能

## 計測手順

### 計測装置



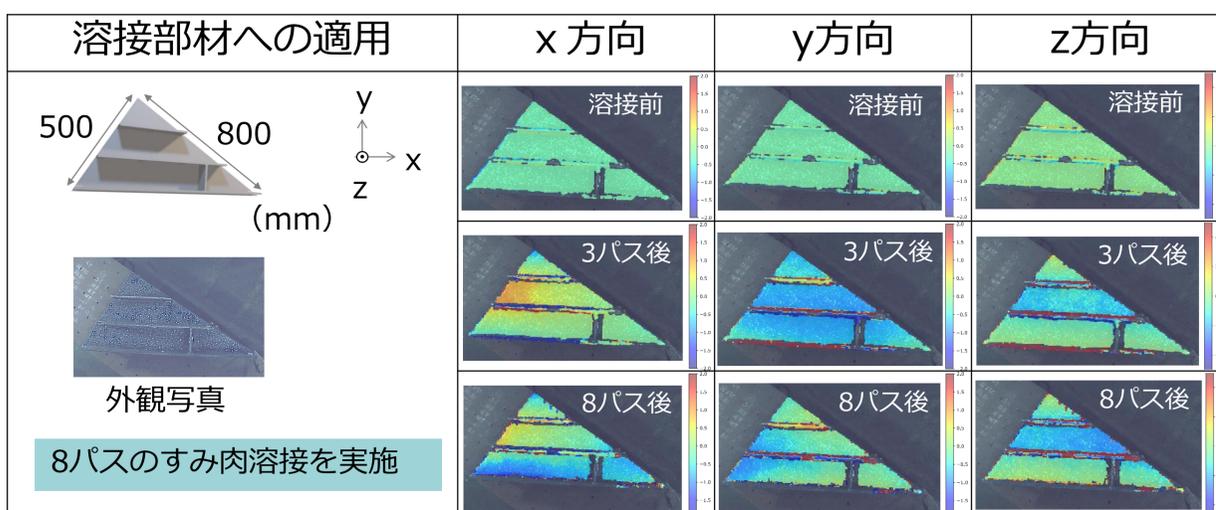
### ランダムパターン



- ① 測定対象にランダムパターンを塗布
- ② 2台のカメラで測定対象を撮影
- ③ 変形前後のランダムパターンの変位を解析し、変形量(x,y,z方向)として出力

- 観察面での3次元評価が可能です。
- 最大1.5×1.2m程度と、実部品に近いサイズで測定できます。

## 実施例



- 対象物全体の溶接変形を連続的に3次元評価可能 (x,y,z) です。
- 実ワークに重ね合わせて描画することも可能です。

試験体作製から測定、検証まで**ワンストップ**で実施させていただきます！

### 温度測定



詳細はこちら



### 内部残留応力測定MIRS法



詳細はこちら

